

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課

会議名 令和2年度 第1回諏訪市文化財専門審議会

開催日時 令和2年11月10日(火) 13時30分 ~ 15時00分

開催場所 諏訪市博物館学習室

出席者 (出席者) 委員:大窪久美子・小口徹・織田顕行・高林重水・高見俊樹・二村悟・二本松泰子・宮坂正博、渡邊匡一
幹事ほか:小島教育長・後藤教育次長・小林生涯学習課長・小口博物館長・関沢文化財係長
事務局ほか:文化財係日野主任・岩波教育委員
(欠席者) 委員:宮坂清
(傍聴者) 2人 (敬称略)

資料 次第、報告・意見交換資料(補足資料)

協議事項(内容)及び会議結果(要旨)

13時30分~15時00分 審議会

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 教育長あいさつ
- 4 正副委員長選出
- 5 報告(文化財経過報告ほか)
- 6 意見交換(市指定候補物件「木造普賢菩薩騎象像」、市文化財保存活用基本方針)
- 7 閉会

[質疑意見一括]

議事事項はなく、5報告にて文化財経過報告を行った。また、6意見交換として市指定候補物件「木造普賢菩薩騎象像」について、指定に向けた準備を始めることを確認したほか、文化財保護業務の方向性の明示及びその共有化を目的とする市文化財保存活用基本方針策定に向け、諏訪市の文化財に対するイメージあるいは課題について以下のとおり意見が出された。

6 意見交換(市文化財保存活用基本方針策定)

(多種多様な文化財が混在)

- ・「広くて深い」という特徴(自然、縄文、高島城(藩)、諏訪信仰、近代化遺産、生活文化…)を有している。
- ・諏訪市だけでなく、圏域(諏訪郡内あるいは文化圏)の視点から新たな価値付けが生じるかもしれない。
- ・悉皆調査(現状把握)を進めていく中で、諏訪市の文化財の特徴を明確化することができるので、未指定を含む現状把握及びリスト化は大切。
- ・指定(保存も活用も含めて)について、通常業務として普通に行えるようにしておくことは大前提となる。(伝えることの大切さと難しさ)
- ・こうしたあり方そのものを広く市民に知ってほしい。その中で「地域」の視点は大切。
- ・手法としては難しいが、知っていただく機会を増やすように努めてほしい。
- ・近代化遺産などは地域おこしの視点を考える視点も必要か。
- ・(情報発信について)現状で可能なことを地道に進めていくこと、情報を使う側に合わせることで、上から(専門性)ではなく、一緒に取り組む視点は大切。
- ・文化財保護にとっても実物を保管及び公開(ネットでは見られない)する博物館の役割は大きい。